

2023 年度 環境経営レポート

対象期間：2023 年 6 月 1 日～2024 年 5 月 31 日



武庫川水系大堀川河川改修工事（その 7）

発行日：2024 年 9 月 22 日

泰成建設株式会社

1. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

【基本理念】

泰成建設株式会社は、平成17年7月の創業、土木工事、とび・土工工事、石工事、鋼構造物工事、舗装工、浚渫工事、塗装工事、水道施設工事、解体工事を中心に、公共工事から民間工事まで信頼の実績で幅広く対応しております。

当社は施工業種・施工規模を問わず、柔軟な施工体制により多種多様な施工実績を有し、主に、造成工事、河川・道路工事、下水道工事を得意とし、地域の建設業者として社会基盤の整備に貢献してまいりました。また、災害対策へも意欲的に取り組み、緊急時の対応に備えるとともに、常に緊急連絡網や備蓄資機材の整理・整備に留意しております。そのおかげで、景気低迷で業界縮小が続く中であっても、自社施工部門の充実育成により安定した売上と成長を達成しています。

地球環境問題の改善に取り組むことは、地球という土地に住む人類にとって共通のテーマです。最近では「地球温暖化」という課題も大きく取り上げられております。当社は、建設・土木工事事業活動における環境負荷を真摯に受け止め、企業活動と地球環境の調和を目指して、経営における課題とチャンスを踏まえ、全社員が積極的に継続的に環境負荷の低減に取り組んでまいります。

【基本方針】

- 1 環境に配慮した事業活動を行い、環境保全活動の推進に努めます。
- 2 環境関連法規・条例を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
- 3 環境経営方針に沿って環境経営目標と環境経営計画を具体的に設定し、それらの運用・評価・見直しを行います。
- 4 事業活動に伴う電気・ガソリン等CO₂排出量削減を推進します。
- 5 廃棄物排出量を抑制し、可能な限り分別処理しリサイクルに努めます。
- 6 水使用量の削減に努めます。
- 7 工事現場等の事前環境調査及び環境に優しい資材の採用と資材の使用合理化に努めます。
- 8 環境経営方針を社内に周知し、全社員参画による環境経営を推進します。

制定 令和5年6月1日

泰成建設株式会社

代表取締役 山本 泰慶

2. 組織の概要

(1) 名称(登録組織名)及び代表者名

泰成建設株式会社

代表取締役 山本 泰慶

(2) 事業所の所在地

本社 〒665-0822 兵庫県宝塚市安倉中2丁目13番2号1F

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 増村 琴 経理

担当者 増村 琴 経理

連絡先 TEL : 0797-84-1611 FAX : 0797-84-1393

E-mail : taisei-keiri@rondo.ocn.ne.jp

(4) 事業内容(全活動)

総合建設業

(5) 適用事業範囲、認証・登録の対象範囲

対象事業所 本社

対象の活動 全組織・全活動

(6) 事業規模

資本金 30 百万円 売上高 519 百万円(2023/6~2024.5)

従業員 9 名 延べ床面積 本社 122 m²

工事件数 8 件

建設業許可

兵庫県知事 許可 (般-17) 第 301550 号 平成 17 年 11 月 15 日許可

兵庫県知事 許可 (般-22) 第 301550 号 平成 22 年 11 月 10 日許可

兵庫県知事 許可 (特-25) 第 301550 号 平成 25 年 11 月 25 日許可

兵庫県知事 許可 (特-30) 第 301550 号 平成 30 年 11 月 16 日許可

(7) 事業年度 11 月~10 月

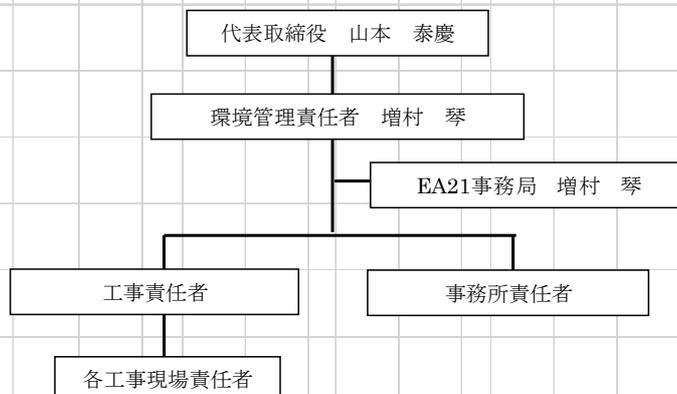


宝塚市ひろば等
整備工事

3. EA21 の活動組織

制定日：2023年6月1日

泰成建設株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理、 環境関連法規等の取りまとめ作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 事務所・工事現場の問題点の発見、是正、予防処置の確認 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
事務所・工事及び 各工事現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> 事務所・工事現場における環境経営システムの実施 事務所・工事現場における環境経営方針の周知 事務所・工事現場の従業員に対する教育訓練の実施 事務所・工事現場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 事務所・工事現場の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成(環境事務局の場合もあり) 事務所・工事現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施 各工事現場のまとめ(工事責任者)
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標及び主要環境経営計画とその実績・評価

2023 年度(2023. 6～2024. 5)の環境目標及び主要環境活動取組計画は、下記の通りである。中期計画(2024 年度以降)の環境経営目標は、2022 年度実績に対し毎年度 1%削減とした (P7 参照)。なお、化学物質の使用はない。

(1) 環境経営目標とその実績・評価と 2024 年度以降の中期計画

- 1) 2023 年度の数値環境経営目標は、各項目の前年度同期間の 1%削減とした。
- 2) 事務所における水使用量については、2 カ月に 1 回の計測(偶数月)である。また、事務所における一般廃棄物については 1kg/袋として計算した。
- 3) 産業廃棄物については、元請工事排出分は自社で処理。産業廃棄物は、工事内容により大きく異なるため環境経営目標は設定せず、参考とし数値管理することにした。

項目		目標及び実績				中期計画	
		目標	実績	達成度	評価	2024 年度	2025 年度
事務所電力使用量削減	kWh	8,506	8,444	101%	○	8,221	8,137
事務所ガソリン使用量削減	L	7,826	6,618	118%	○	7,981	7,900
工事現場電力使用量削減	kWh	4,243	1,410	301%	○	3,372	3,338
工事現場軽油使用量削減	L	8,497	21,622	39%	×	7,817	7,737
※全社二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	44,383	75,067	—	—	42,602	42,168
事務所水使用量管理	m ³	44	39	114%	○	42	42
事務所一般廃棄物削減管理	kg	59	60	98%	△	59	58
※産業廃棄物管理(元請分)	t	—	17.80	—	—	—	—

注) 評価欄にて、○：達成(100%以上)、△：やや未達成(90%以上 100%未満)、

×：未達成(90%未満) ※：参考

二酸化炭素排出係数：0.311 kg-CO₂/kWh 関西電力 2021 年度調整後実績

2023 年 1 月 24 日に経済産業省および環境省より公表

4) 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上およびサービスの改善の環境

5) 経営目標は、

- ①工事現場等の事前環境調査、②環境に優しい資材の採用と資材の使用合理化に努めるとした。可能な限り対応した。

5) 経営における課題とチャンスに関する

環境経営目標は、2023 年度は設定しなかった。今後の課題とした。



土砂災害特別警戒区域急傾斜地対策工事

(2) 主要な環境経営計画及び取組結果・評価(2024年6月以降も取組継続)

環境経営計画の取組結果とその評価は下記の通りである。

取り組み計画	評価	内容	2024年 6月以降
I. 二酸化炭素排出量の削減			
1) 電力の削減			
・不要照明の消灯	○	よく消灯されていた	継続
・空調温度の適正化	○	事務所は温度管理されていた	継続
・不要時パソコンの停止	○	大部分は守られているが、まだムラが若干ある	継続
2) ガソリンの削減			
・エコドライブの徹底	○	速度抑制、空気圧点検、アイドリングストップなどが意識された。	継続
3) 軽油の削減			
・無駄重機運転の削減	○	不使用時は、意識して運転をストップする	継続
II. 廃棄物排出量の削減			
・事務所一般廃棄物の削減	○	資源ごみは分別排出する	継続
・産業廃棄物分別の徹底	○	元請けの指示(分別)に従う (自社元請けの場合も同様とする)	継続
III. その他			
・節水意識の向上	○	節水意識が向上した	継続
・工事現場の事前環境調査	—	可能な限り実施した。	継続
・環境に優しい資材の採用	—		継続
・資材の使用合理化	—		継続

◎よくできた ○:できた △:まあまあ(事例がない場合も含む) ×:できなかった

(3) 2023年度の評価まとめ

2023年度の数値目標は、工事現場の軽油使用量が大きく未達成のほかは環境経営目標を達成している。工事現場の電力使用量は大きく削減できている。工事現場の軽油使用量は競馬場高丸線道路改良工事、武庫川水系大堀川河川改修工事に多く使用した。工事内容により大きく変動するものであることから、特に課題はないと考えている。二酸化炭素排出量のうち、工事現場の軽油による二酸化炭素排出量が約75%を占めていることが分かった。今後は、工事現場軽油使用量の削減方法を

考える必要がある。すぐには具体的対策を考えられないが、全員によるアイデア検討会などを開催したい。

水使用量については、お茶・トイレへの使用のみである。一般廃棄物も新聞紙・コピー紙などは資源ごみとして分別排出しており、焼却できるごみのみである。一般廃棄物は、1kg/袋として計算しており、実計測しないと削減は難しいと思っている。

産業廃棄物については元請け工事があり、17.8tのAs・Co塊が発生した。リサイクル率は100%であった。分別廃棄を徹底した。

自らが施工・販売・提供する製品およびサービスに関する項目については、可能な限り対応した。

なお、環境経営計画は順調に実施できた。

2023年度の総括として、EA21環境活動が意識され始めたが、まだまだEA21環境活動の浸透が必要で、一層の推進と全員の努力で今後の成果を期待したい。

5. 中長期環境経営目標と主な環境経営計画取組内容

(1) 中期目標（2024～2026年度）

2024年度以降の中期目標については、数値環境経営目標は1年目の2022年度(2022.6～2023.5)実績を基準とし、毎年1%削減(2024年度は2%削減)を目標とする。工事内容により大きく変動する工事現場軽油使用量に関しては、2024年度中に再度検討する。事務所における一般廃棄物についても、1kg/袋として計算しており削減が難しい。産業廃棄物排出量については、元請け工事を受注分の産業廃棄物排出物量管理を行う。なお、リサイクル率については100%を目指す。

自らが施工・販売・提供する製品およびサービスに関する項目は、元請け工事については①工事現場等の事前環境調査を実施し、必要に応じ対策を行う、②ICTを利用した測定の活用、③可能な限り環境に優しい資材の採用、④資材の使用合理化を進めることを環境経営目標とする。

化学物質の使用はない。

なお、工事件数・内容により大きく変動すると思われる工事現場電力、軽油、産業廃棄物等については、受注金額百万円あたりで算出することも考えたが、整合性があまりなく難しいと考えている。今後の検討課題である。

また、EA21の年度を現在6月～5月としているが、当社の事業年度は11～10月であることから、2024年度からの期間変更も検討したい。

(2) 主な環境活動計画の取組(2024年度以降取組)

従来の環境経営計画を継続する。

6. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認した。なお、環境関連法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する主な事項	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬・処分業者との適正な契約 マニフェスト伝票の管理 (A,B2,D,E) 廃棄物置場の表示と保管基準の順守	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検の実施と記録	遵守
消防法	火災の予防	遵守
建設工事にかかる資材の再資源化等に関する法律	対象工事の届け出書、分別解体の実施と再資源化 現場ごとに標識の掲示	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、7日前までに	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、7日前までに	遵守

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示(2024.8.1実施)

良好な地球環境を未来に残すため、従業員共々エコアクション21に真摯に取り組んでいる。まだ2023年度(2023.6~2024.5)を終えたばかりなので、2023年度をEA21環境活動の第一歩とし、従業員全員の意識向上による目に見える成果を期待している。

工事現場の軽油使用量・事務所における一般廃棄物の削減目標の設定方法及びEA21活動期間を事業年度と合わせることも2024年度中に考えたい。

なお、環境経営方針、目標・計画、実施体制は現状を継続・維持する。



競馬場高丸線道路
新設改良工事



市立スポーツセンター
整備工事